

授業改善等に関する報告書（2023 年前期）

授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

【2023（前期）国文学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
Japanese Literature	ブルナ, ルカーシュ	日本語をほとんど使わない英語の授業で、ハードルが高いのではないかと心配していましたが、実際には、皆さんが積極的に授業に参加し、質問に答えてくれましたので、個人的にはとても楽しい、面白い授業でした。最後のプレゼンテーションもよくできていました。
Seminar on Global Studies	ブルナ, ルカーシュ	日本語をほとんど使わない英語の授業で、ハードルが高いのではないかと心配していましたが、実際には、皆さんが積極的に授業に参加し、毎回発言してくれましたので、個人的にはとても楽しい、面白い授業でした。最後のプレゼンテーションもよくできていました。
仮名書法 1	伊藤 文生	「具体的に成長を実感したこと」について、「書道的美しさや美の追求などの理解が深まった」「かな文字の書き方についての実践的な勉強として最適だった」「自分がこれからどのように学習していくべきかを見直すことができた」「書法への理解やさまざまな筆法の知識が身についた」「書道の凄さや万葉仮名の理解が深まりました」という回答があった。授業については、「この授業を通して字を書くことの楽しさを知った」「成り立ちなどの説明が分かりやすく、今までで一番理解が深まった」「1年生の頃に履修していた授業では学ぶことができなかった仮名文字も学ぶことができた」。特にビデオ教材の利用に対して、「授業内のビデオを通してたくさんことを学ぶことができた」「ビデオ視聴により筆についてや書道家の思いなどを知ることができた」「ビデオの視聴により、筆の使い方や書道家がどのようなことを意識しているのかを学んだ」「さまざまな筆法をビデオで見ること、筆で書写する際の書き方をより深く学ぶことができた」「それぞれの筆の持ち方であったり、座って書く人、立ったまま書く人、など書き方も人それぞれ、自分のスタイルがあるということを学びました」と、おおむね好評だった。ただ、さまざまな異体仮名の用法に関して、「なぜその使い分けが起きているかなどを調べたら良いなと思った」という感想があり、古典的仮名についての更なる探究考察の必要を感じた。
近現代文学演習 1	大原 祐治	読み応えのあるテキストを扱う演習授業でしたが、各回の発表者はしっかり準備して臨んでおり、討議も毎回、充実したものになっていたと思います。扱うテキストが少し難しいという声もありましたが、難しく感じるくらいテキストを読みこなすことで、卒論執筆に向けての力が身につきます。
近現代文学演習 1	ブルナ, ルカーシュ	少人数の授業で、いろいろ大変だったと思いますが、皆さん、よく頑張りました。授業では、林芙美子の作品を読みました。その文学に独特の魅力があり、その作品を読むことによって、作家自身や同時代の社会や文化などさまざまな要素が見えてくることを、この授業で再確認できたのではないかと思います。これからも頑張ってください。
近現代文学演習 1	棚田 輝嘉	アンケート回答有り難う。 皆さん自身の自己評価が余り高くないのに驚いています。 積極的に参加できるような発言方法なども考えていきたいと思っています。 後期もよろしく。
近現代文学基礎演習 1	大原 祐治	授業の性質上、受講者の発表と討議の占める部分が大きい科目ですが、多くの受講生が満足していることから判断するに、よい議論ができていたものと思われます。当初の予定通りきちんとテキストを読み終えることができたのも、受講生の皆さん自身の努力によるところが大きいと受け止めています。
近現代文学研究 a	ブルナ, ルカーシュ	英語と日本語のテキストを扱う授業なので、じっさいに聞いて難しいところもあったのではないかと思います。コメントやレポートをみると、皆さん、意欲的に取り組みました。おつかれさまでした。
近現代文学研究 a	大原 祐治	読み応えのあるテキストを扱う授業でしたが、受講生の皆さんが毎回しっかりとテキストを読み通した上で参加していたことは、授業後のコメントからしっかり伝わってきました。アンケート上で成績面での自己評価が低めの回答になっているのが少し気になるのですが、期末課題の内容から考えても、もっと自信をもっていたらよいと思います。
近現代文学史 a	棚田 輝嘉	回答有り難う。 オンデマンドということで、どのような回答が出てくるか心配していましたが、比較的高い評価を頂き安心いたしました。 オンデマンドでしか出来ない教材（動画などを利用）作りをして、面白い文学史を目指していますが、より興味深い内容になるように、後期も工夫していきたいと思っています。
近代文学基礎講読 a	大原 祐治	「講読」という授業の性質上、毎回テキストをしっかり読み込むことを求める授業でしたが、説明のわかりやすさ、授業の進むスピード等の項目で問題を感じている受講生がほぼおらず、理解度についても「理解できなかった」という回答が少なかったことから考えれば、1年生向けの必修授業として、概ね妥当な展開になっていたのだろうかと思っております。各回の授業後に提出を求めたコメントに対して次回授業冒頭で行ったフィードバックに、一定の効果があったのだと理解しています。

【2023（前期）国文学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
古典文学基礎講読 a	池田 三枝子	自身の成長が実感できた人が100%だったのは、とても良いと思います。4月から7月にかけての4ヶ月間で変体仮名が読めるようになったという自信があったのは素晴らしいですね。一方、予習時間について、週に2時間以上から30分未満まで、ばらつきが生じていました。授業としては、それが今度の課題です。
古典文学基礎講読 a	越後 敬子	初めは変体仮名を全く読めない状態から始めましたが、3ヶ月の学習でだいぶ読めるようになったのではないのでしょうか。特に小テスト以降、飛躍的に読めるようになった学生さんが多かったように思います。変体仮名解読への近道はない、とにかくたくさん読むしかない、という信念のもと進めていきましたが、授業の進行が早いと感じる学生さんが多くいたようです。来年度以降の授業に活かしていきたいと思います。
国語学演習 1	山田 里奈	国語学演習 1 では、『浮世風呂』から自分で課題を見つけ、簡単な調査をして考えられるということを目指して授業を行ないました。理解が深まった、課題を見つけることができたというコメントがあったように、一人一人が発表を通して、目標を達成できていたのではないかと思います。出席の取り方については、途中で方法を変えてしまったこともあり、公平性に欠けてしまったかもれませんので、改善するようにします。
国語学基礎演習 1	山田 里奈	この授業では、狂言台本を資料とし、語句調べと日本語学の論文紹介の2本立てで発表を行ないました。2つ以上の辞書を比較するという体験と、自分の担当範囲から課題を見つけ、それに関する論文を調べる体験を通して、日本語学とはどのような学問かを知ってもらいたいと思っていました。発表やレポート、授業アンケートを見ていると、一人一人が課題を見つける力や論文に対する意見を持つ力をつけることができたように思います。
国語学研究 a	吉田 雅子	アンケートへのご協力ありがとうございました。今後の授業運営の参考にしたいと思います。今期の授業内容でさらに質問したいことがあればいつでもお寄せください。履修中でなくとも大丈夫です。皆さんが今後も学んでいく中、アドバイスや指導ができればと思います。
国語史 a	山田 里奈	この授業では、室町時代頃までの文字史、音韻史、文体史、語彙史について扱いました。レポートでは、日本語の歴史に関する論文の紹介と自分の意見というテーマでまとめてもらいました。国語史といった場合に、どのような研究があるのか、どんな変化があるのかが伝わっていたらと思います。授業では広い範囲を扱いましたので、この授業を入り口として、興味を持った分野については、論文や教科書で深めていってください。
国文学概論 a	佐藤 悟	皆さんが考える力がついたと考えていただけたのは嬉しい限りです。暗黙知を形式知にするという能力を身につけることが大学4年間の課題です。気軽に声を掛けてください。授業以外にも疑問に思うことがあったら言葉にしてみることがとても大切です。
国文学概論 a	棚田 輝嘉	回答ありがとうございます。比較的高評価で安心いたしました。ただ、満足度を上げるような工夫をもっとしていきたいと思います。後期は韻文です。驚きに満ちた授業を心がけます。
国文学概論 a	舟見 一哉	PDF資料と音声資料MP3を配信するオンデマンド授業を行った。概ね満足との回答だが、時間配分に問題があったので、修正に取り組む。
上代文学演習 1	池田 三枝子	回答率が30%未満なので判断が難しいところですが、回答者のうち9割がこの授業に意欲的に取り組み、8割が自身の成長を実感できたのは、悪くない結果です。前期・後期一連の授業ですが、後期には要求水準が上がるので、意欲的に取り組みれば必ず結果が出る（＝成長を実感できる）と思います。
中古文学演習 1	菅原 郁子	本授業の到達目標は、古典文学の具体的な研究文献の検索・収集の方法を知り、問題テーマを自ら発見できる力を身につけることであり、凡そ達成出来ていたと思います。後期はさらに自らの作品理解と考察を深める力を養い、平安時代の王朝文学・文化をより深く理解できるように指導したいと考えています。
中古文学演習 1	舟見 一哉	レベルの高い演習であったかと恐れていたが、概ね好評であり安堵した。来年度も引き続きこの形で進めたい。ただしアンケート集計数が少ないため周知につとめたい。
中古文学基礎演習 1	舟見 一哉	レベルの高い演習であったかと恐れていたが、概ね好評であり安堵した。来年度も引き続きこの形で進めたい。
中古文学研究 a	舟見 一哉	PDF資料と音声資料MP3を配信するオンデマンド授業を行った。概ね満足との回答だが、音声の質に問題があったので、修正に取り組む。

【2023（前期）国文学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
中古文学史 a	庄司 敏子	中古文学の作品に何かしらの興味を持ってもらえたようで、授業の目標は概ね達成していると思われる。一方で、古典に馴染みのない学生からは「説明や資料が難しい」との意見があった。今後は様々な段階・興味の学生が受講することを考慮した授業作りに留意するつもりである。
中世文学演習 1	大橋 直義	3年次の演習としては、受講人数も少なめで、かつ難易度の高い資料を読む授業である。受講者の口頭発表時における理解の深まりを見る限り、ばらつきがあるものの、概ね効果が出ている授業であったと考えている。
中世文学基礎演習 1	大橋 直義	今年度は極めて受講者の少ない授業となってしまいましたが、それでも、受講者2名は熱心に取り組み、かつ、読解力において大きな向上を認めることが出来ています。
中世文学研究 a	大橋 直義	比較的難度の高い授業内容でしたが、受講者の多くは一定程度の関心をもって取り組めたと思います。これまでにあまり学んでこなかった分野（宗教・歴史）に関わる内容ですので、理解も難しかったかもしれませんが、レポートを採点する限りでは、適切な知識を身に付けることができた受講者の方が多かったと思います。とはいえ、どうしても当該分野はこれまでの蓄積が小さいので、より分かりやすい授業を目指したいと思います。
特殊演習 1	舟見 一哉	学生が非常に意欲的に取り組んでくれたためスムーズに授業を進められた。私からもお礼申し上げたい。
特殊演習 1	棚田 輝嘉	回答有り難う。 回答頂いた皆さんの評価は比較的高かったので安心しました。ただ回答数が少ないことに問題があるかも知れません。後期は、前期以上に「攻めた」授業を、皆さんと作っていきたいと思います。
特殊演習 1	山田 里奈	卒論執筆に向けた、研究計画の発表や先行研究の発表、予備調査など、忙しかったと思います。卒論のための調査の準備ができた、調査方法がわかったという回答があり、一人一人が着実に進められていることがわかりました。夏休みの調査、頑張ってください。
特殊演習 1	山内 博之	グループワークを中心にした授業でしたが、予想以上にうまく機能していたように思います。自分の研究のみを気にするのではなく、他のゼミ生の研究にも興味を持って積極的に意見を言ってくれたことがとてもよかったです。
特殊演習 1	池田 三枝子	回答率が30%程度なので判断が難しいところですが、回答者のうち8割が成長を実感しているのは良いことだと思います。就活等で卒論だけに集中するのはなかなか大変ですが、しっかり卒論に取り組んで、それを書ききった自信は今後の人生にプラスになると思います。
特殊演習 1	大原 祐治	就職活動や教育実習などで多忙な受講生が多く、なかなか全員が集まることができずでしたが、各自の多様な卒論テーマに対してお互いにコメントし合い、切磋琢磨する場になっていたと思います。卒論の完成まで、引き続きサポートしていきます。
特殊演習 1	ブルナ, ルカーシュ	前期は、就活で忙しく研究がなかなか思うように進まない人も多かったのではないかと思います。これからは、研究に心血を注ぎ、いい卒業論文を書いてください。
日本語の音声	山内 博之	講義をすべて英語で行なったにもかかわらず、定期試験の出来は悪くありませんでした。 自信を持ってください！！
日本語教育学演習 1	山内 博之	1人ひとりが発表するという形式ではなく、1つの課題をみんなで考えるという形式の授業にしました。人によってある程度違いはあるでしょうが、授業中は、みなさん、熱心に課題に取り組んでくれていたと思います。また、期末レポートの出来は、予想以上によかったです。日本語学習者がすぐに使える、生き生きとした例文が多く、それがとてもいいと思いました。
日本語教育文法-初級-	山内 博之	オンデマンドで資料を配信するだけの授業なので、みなさんの反応がわからず、その点が心配でした。期末試験の成績を見ると、かなりきちんと資料を読んでいる人が多いようだったので、少し安心しました…。
文学散歩プロジェクト	棚田 輝嘉	高い評価を頂き、有り難うございます。自分自身で調べ、自分の足で歩いてみることの楽しさを知っていただければと思います。今後も、より魅力的なコースを作っていきたいと思っています。